

愛媛県四国中央警察署協議会会議録
(令和 5 年度第 2 回)

日 時	令和 5 年 10 月 11 日（水曜日） 午後 1 時 30 分～午後 3 時 50 分
出 席 者	1 警察署協議会 会長以下 7 人 2 警察署 署長以下 11 人
議 事 概 要	1 会長挨拶 (1) 祭典警備を始めとする各種警察活動に対する激励 (2) 活発な意見交換の依頼 2 署長開会挨拶 (1) 各種警察活動への協力に対する謝辞 (2) 忌憚のない意見交換の依頼 3 業務推進結果等の説明 令和 5 年 6 月から 9 月までの業務推進結果、同年 10 月から令和 6 年 1 月までの業務推進計画について、各課長が報告、説明した。 4 前回（第 1 回）の諮問事項（交通事故総数を減少させるための取組）について、委員からの意見に対する回答 (1) 意見 管内の交通事故分析に基づく効果的な広報啓発・安全教育を推進してはどうか。 【回答】 管内の交通事故発生状況を分析し、交通事故多発エリア等を踏まえつつ、安全運転管理者講習会や各事業所において広報啓発・安全教育を推進した。 (2) 意見 技能実習生の多い事業所等で、外国人や雇用主向けの交通安全講話等を推進してはどうか。 【回答】 管内にある技能実習生の研修施設において、技能実習生に対し、交

通安全講話を実施したほか、外国人受入れ事業所に対して、技能実習生の自転車の交通マナー向上を働きかけた。

(3) 意見

横断歩行者保護について、例えば、運転者側から立体的に見える横断歩道を設置して、運転者の視覚に訴える取組を推進してはどうか。

【回答】

「手上げ横断モデル事業所」の勧誘等、「大人も手を上げよう運動」の推進を図ったほか、道路管理者と協議の上、運転者の視覚に訴える道路標示を新設した。

(4) 意見

若年層の自転車交通マナー向上のため、自転車の安全利用に関する広報活動を推進していただきたい。

【回答】

夏休み期間中、管内の児童クラブに対し、自転車の安全利用に関する指導を行ったほか、管内事業所における交通講話時、V R（自転車の危険予測等が体験できるシミュレータ）を活用するなど、積極的に交通安全教室を開催した。

(5) 意見

自転車乗車時の正しい手信号について、交通安全教育を推進してはどうか。

【回答】

宇摩交通安全協会と連携して、管内の小・中学校において、歩行中のルールや自転車の安全な乗り方等の説明、校庭等に設置した模擬道路における安全な通行方法の指導等の出前講座を行った。

(6) 意見

交通法令の基本を徹底する広報活動を推進していただきたい。

【回答】

本年7月に開催された「第45回四国中央紙まつり」会場において、警察本部から、交通安全教育車を派遣するなど、各種イベントにおいて、ドライバーを対象とした体験型（危険予測等）の交通安全教育を実施した。

5 質疑応答

- (1) 委員 新聞に、四国中央市内の道路では、大型トラックの交通量が多いことに起因し、横断歩道の白線の摩耗が目立つ旨の記事が掲載されていたが、これを受けた住民からの要望等の有無について伺いたい。

回答 交通課長

特に記事を受けての住民からの要望はなく、横断歩道の白線の摩耗に起因する事故の発生も認識していない。

なお、住民から要望が寄せられた場合は、当署で現場確認を実施後、警察本部に報告し、警察本部において県内の道路事情を総合的に勘案して優先度の高いものから順次修繕している。

- (2) 委員 四国中央市内の防犯カメラの運用台数について伺いたい。

回答 生活安全課長

四国中央警察署が把握している四国中央地区防犯協会等が管理する防犯カメラの運用台数は、令和4年時点において、当署管内31か所78台である。

- (3) 委員 署員を対象にマナーに関する講習会を開催したとのことであるが、過去にもこうした講習を開催しているのか伺いたい。

回答 警務課長

マナーアップ研修を含め、若手警察官を始めとする署員の見識向上等を図るべく、部外から様々な有識者を講師に招き、講習会を開催している。

- (4) 委員 最近、電力会社を装った不審電話がかかってきたが、四国中央警察署管内において、電力会社を装った不審電話による詐欺被害の発生があるか伺いたい。

回答 刑事課長

当署管内においては、現時点で被害は把握していない。

6 委員からの要望意見等

本年7月に開催された「第45回四国中央紙まつり」では、昨年同様、警察による各種広報イベントが来場者に好評であり、全体の来場者数の増加にもつながったと思うので、来年度も是非参加していただきたい。

7 諮問及び答申

諮問	答申
若手警察職員の指導者育成方策について（若手警察職員を指導する立場の中 高年職員の指導力や資質向上）	○ 企業の社員教育や人材育成に関する業務を事業とする民間の有識者を部外講師として、研修会を開催してはどうか。 ○ 若手警察職員に対する指導方法の情報共有の機会として、中高年職員を対象とした会議や研修会を定期的を開催してはどうか。 ○ 若者世代の特性や価値観等を理解し、効果的な指導に活かすため、管内の高校生を始めとする若者と座談会を開催してはどうか。 ○ 若手警察職員に対する指導を論理的かつ客観的に行うことができるよう、対話型人工知能（A I）を活用してはどうか。

8 署長閉会挨拶

- (1) 活発な意見交換に対する謝辞
- (2) 今後の各種警察活動への協力依頼

9 その他

県下柔道・剣道大会に向けた署員の術科訓練状況の視察



術科訓練状況